※令和４年度以降入学生用

学校番号	T1202

令和５年度　家庭科

教科	家庭	科目	服飾手芸	単位数	２単位	年次	２～４年次
使用教科書	特になし						
副教材等	自作教材、実習教材、プリント等						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

〇家庭生活に関心をもち、積極的に取り組みましょう
・生活の様々な現象や課題をワークショップや演習等を通して考え、理解を深め知識を身に付けます。友だちの考えを知り、多様な考え方を学び、自分の考えをもちましょう。
・実践的・体験的な学習を通して、科学的な理解に基づいた確かな技術を身に付けます。
・学んだことを自分の生活の問題として捉え、よりよい生活をめざします。

２　学習の到達目標

家庭の生活に関わる産業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、創造的な手芸品の制作と服飾への活用を担う職業人として必要な資質・能力を育成することを目指す。
（１）手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。
（２）手芸の美的価値及び制作工程に関する課題を発見し、手芸品の制作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決する力を養う。
（３）手芸の制作を目指して自ら学び、創造的な制作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	手芸の種類と特徴及び変遷、各種手芸の技法などについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けることができる。	手芸の美的価値及び制作工程に関する課題を発見し、手芸品の制作と服飾への活用を担う職業人として合理的かつ創造的に解決することができる。	手芸の制作を目指して自ら学び、創造的な制作と服飾への活用に主体的かつ協働的に取り組むことができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	刺繍	・オリエンテーション ・科目内容を理解する ・刺繍の文化・歴史 ・刺繍の基礎	a:刺繍の基礎や配色に関する基本的な知識、技術を身に付けている。 b:刺繍の基礎的な技術の習得に課題を見いだし、その解決をめざして適切に判断し表現している。 c:刺繍の基礎について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート記述 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価　等
前期	クロス刺繍の作品制作	・刺繍品の製作 ・クロス刺繍の作品 ・ブックカバー	a:作品製作を通して、クロス刺繍や縫製の基礎的な知識や技術を身に付けている。 b:ブックカバー製作において図案を考えて自分らしさを表現し、その製作過程で課題の解決を目指している。 c: クロス刺繍の作品製作について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート記述 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価　等
後期	編み物	・編み物の基礎 ・編み物の文化・歴史 ・編み物の種類と特徴 ・かぎ針、ゲージの取り方 ・アクリルたわし	a:デザインやサイズのとり方、基礎的な編み方の知識や技術を身に付けている。 b:編み物の基礎的な技術の習得において課題を見いだし、その解決をめざして考え、表現している。 c:編み物の基礎について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価　等
後期		・レザークラフトの作品制作 ・道具の扱い方を学ぶ コインケース ペンケース ・仕上げの仕方を学ぶ	a: :作品製作を通して、レザーや道具を扱う知識や技術を身に付けている。 b:製作計画を立て、その製作過程で課題を見出し、適切に判断して表現している。 c: レザークラフトでの作品製作について関心を持ち、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ワークシート 定期考査 単元小テスト	実習作品 作品発表 実習レポート	学習状況観察 振り返りシート 発表 自己評価　等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度